

地元ケーブルテレビ～海上保安庁の仕事に密着取材！！～

唐津海上保安部では、令和2年6月、津波の襲来を知らせる手段の一つとして新たに「津波フラッグ」が制定されたことから、これの普及啓発を図るため、11月5日（世界津波の日及び津波防災の日）に自治体等関係機関と連携し、「津波フラッグ掲出訓練」を実施することになりました。

どうしたら津波フラッグを広く市民に周知できるか検討したところ、唐津市民の多くが視聴している「唐津ケーブルテレビが最も効果的、併せて海上保安部の業務紹介なども取り上げてもらってはどうか」との意見が出て、唐津ケーブルテレビに相談したところ、唐津市内の企業を紹介する新コーナーで取り上げていただくことになりました。

出演者については、親御さんにご子息・ご息女の活躍を見て頂こうと、部内で若手職員を人選しました。

撮影当日、まずは陸上各課の業務及び施設の説明を行いました。

交通課では、海上交通の安全を守るための灯台等の維持管理業務や海難を未然に防ぐための海難防止指導等の業務を説明し、10月9日に北波多小学校1年生の皆さんに対して行った、海の安全教室について紹介がなされました。

施設の説明では、唐津には他の保安部では珍しい武道場があることから、制圧訓練風景も紹介することができました。

また、屋上では実際に津波フラッグ(3m×4m)を掲げ、その意味を説明するとともに「津波フラッグ掲出訓練」について分かりやすく周知することができました。

その後「巡視船まつら」へ移動、若手職員と対話形式で、巡視船での仕事内容等の取材を受け、最後に「学生募集」、「海の事件事故は118番」の周知を行いました。

実際の放送では、出演者全員、緊張しながらも自分の言葉で一生懸命伝えようとする姿が画面上で伺え、想像以上の出来映えに当庁のPRとしては大変有意義な取材となりました。

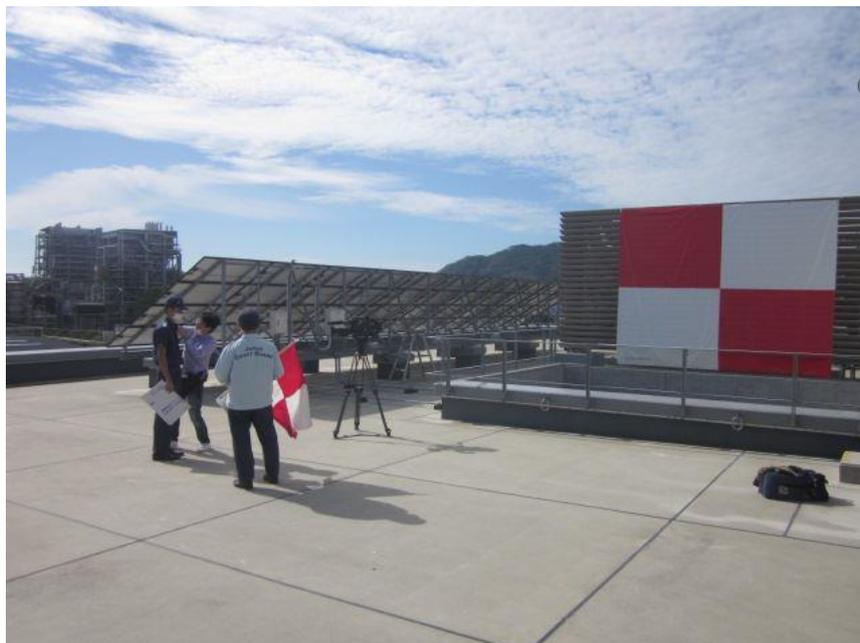
※放送時間は約10分間、6日間で計20回放送。



初めての取材に緊張している若手職員



北波多小学校1年生の皆さんから届いたメッセージ



実際に訓練時に使用する津波フラッグを掲げての周知活動



海の事件事故は 118 番！！